

運動部支援委員会 活動報告

委員長 肥田敬夫（高11回）

1. 平成22年度委員会実施及び基金状況

- ・香陵運動部支援委員会は平成22年度、OB会長懇談会を含め10回実施しました。
- ・寄付総額：2,623,000円
- ・寄付人数：599件
- ・支援金額：3,761,276円
- ・残高：1,930,936円

2. 今年度支援を実施したクラブ活動

① ボート部：

- ・ダブルスカルの練習艇2艇を購入するのに伴い、総額126万円の費用が掛かるとして、ボート部OB会と折半して630,000円を支出しました。

② トレーニングジム：

- ・機器のメンテナンス費用として、委員会単独で162,000円支出しました。

③ 卓球部：

- ・卓球台が2台老朽化して使用出来なくなったため、2台で166,110円のうち、卓球部OB会と折半して83,055円を支出しました。

④ 野球部：

- ・グラウンド整備（グラウンド土の購入費用：378千円、整地等545千円）のため923千円の費用が掛かるため、OB会と折半して461,500円を支出しました。

⑤ 運動部全体：

- ・運動部が利用する洗濯機が壊れてしまったので買い替え費用として、委員会単独で24,721円支出しました。

⑥ 沖縄インターハイへの選手等交通費：

- ・インターハイ出場者の交通費に関して総額約730万円が必要と言う事で、学校より支援の要請がありました。その一部として運動部支援委員会から200万円の支援を実施しました。

⑦ フェンシング部：

- ・フェンシング部女子の筒井さんが好成績で海外遠征選手に選ばれ、今年度4回の遠征に参加しました。その費用の補助として40万円支援を実施しました。

3. 運動部 OB 会長懇談会の実施

- ・日時：2011年7月7日（18:30～20:30） ・会場：沼津東急ホテル
- ・出席者：栗原校長先生、御宿副校長先生、稲本憲紀委員（教頭先生）、鈴木裕一事務長、井口同窓会長、斉藤同窓会副会長、木村同窓会副会長、城所同窓会事務局長
運動部 OB 関係者20名、運動部支援委員会委員長他委員会メンバー9名（運動部 OB 会長のうち2名委員が兼務）合計35名参加。

各部 OB 会の活動状況や支援の要望、学校から運動部の活動報告などがされました。運動部等支援対象の OB 会からは殆どの部活動から代表の参加があり、支援委員会活動への関心の高さを示したものになっております。

4. 今年度協議検討事項

- ・「委員会」メンバーについて、これまで「委員会」に参加していない部活動や今年引退した委員の後任として各 OB 会から協力して派遣して頂けるようお願いしてゆくことを検討しました。これは継続して行きます。
- ・女子生徒の増加に伴い、更衣室など今後女子運動部への支援が増えることが考えられますので、女子運動部 OB 会の設立、運営に関しての支援を検討する必要があると考えています。
- ・運動部支援基金への同窓生からの寄付が伸び悩んでいる事が現時点での「委員会」の最大で継続的な課題です。今後どうすれば、寄付をして頂ける人数や金額を増やせるか検討を続けてゆきます。
- ・現在運動部支援委員会独自のホームページを活用して、若手の OB や遠方の OB の皆さんに情報を発信する事を試行しています。これにより将来の支援活動の礎を作りたいと考えております。